学校番号	111

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

何を描くのか「考える」　何を作るのか「考える」　何に使うのか「考える」　なぜ作られたのか「考える」
何に描くのか「考える」　何のために作るのか「考える」　どうやって使うのか「考える」　なぜ美しいのか「考える」
どんな大きさで描くのか「考える」　どうやって作るのか「考える」　何を伝えるのか「考える」　なぜ好きなのか「考える」
どんな色で描くのか「考える」　どんな大きさで作るのか「考える」　誰に伝えるのか「考える」　なぜ嫌いなのか「考える」

高校の美術では『絵画・デザイン・彫刻立体・鑑賞』を学びますが、「考える」ということを大切にしています。そうすることで、中学校までに学習してきた内容やこれまでの美術の経験を、より深めていきます。
皆さんが美術を学ぶにあたって、一番不安に思うこと。それは「自分は上手いか、下手か」でしょう。

自分の考えや視点で「考える」　自分自身の言葉で「考える」　あなただから出来ることを「考える」
自分らしさとは何か「考える」　自分なりの表現を「考える」　あなたにしか出来ないことを「考える」

一人ひとり、思いや見方、感じ方は違います。どうすれば作品がよくなるのか「考える」、そしてそれを実行することをあきらめなければ、誰でも素敵な作品を作ることができます。上手さというのは、その経験の先にあるものです。一緒に、あなたにしかできない表現を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 完成作品	制作途中の作品 完成作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	色のしくみを知る	【デザイン】 ・色彩基礎 ・混色演習 ２４色相環を画用紙にアクリル絵具 or ポスターカラーで着色する。 自分の作りたい色の色相を知り、明度・彩度を調整し、混色する。	◎ ◎	○ ◎	○ ◎		a:色彩の原理を理解することや、その効果に関心を持ち、自分の意図や配色の計画を基に表現しようとしている。 b:条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:アクリル絵具やポスターカラーの特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品
	ピーマンの色とかたち	【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】 ・デッサン 全体の形や構造がわかるように、３方向からデッサンする。 ・モチーフの簡略化 デッサンを基に、明暗の境界線を自分で決めて、簡略化する。 ・イメージの言語化 モチーフに対するイメージや色、言葉を書き出す。 ・アイデアスケッチ ・モチーフを構成する ・制作 色彩学習で学んだことを活かし、絵具を用いて彩色する。 ・相互鑑賞	◎ ◎ ◎ ○	◎ ◎ ○ ◎ ◎	◎ ◎	◎	a:自然物であるモチーフをよく観察し、その形状や色などから感じ取ったことを表現するため、主体的に取り組もうとしている。 b:条件や美しさなどから、自分のイメージにあった形や色彩などの働きを考えて、画面構成や配色などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を活かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート
	高校展鑑賞	【鑑賞】 ・大阪府高等学校美術・工芸展の鑑賞	◎			◎	a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:自校や他校の生徒の作品のよさや美しさ、作者の取り組む姿勢や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	鑑賞ワークシート
二学期	ピーマンを作る	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・アイデアスケッチ ピーマンをモチーフに立体作品の制作を前提としてスケッチを行う。 ・塑像制作 スタイロフォーム。紙粘土を素材として用い、カッター・木べらを使って塑像作品を制作する。 ・相互鑑賞	◎ ◎	◎ ◎	◎	◎	a:モチーフのフォルムや量感を立体的に感じ取り、立体作品として表現するため主体的に取り組もうとしている。 b:立体作品制作の手順を理解し、感じ取ったモチーフをいかに表現につなげるか構想を練っている。 c:制作段階に応じた道具を選択し、段階を追って制作することができる。 d:他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の取り組む姿勢や表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート

	鉛筆デッサン	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・手のデッサン 自分の手をモチーフに、鉛筆デッサンをする。面にそってタッチをのせることで立体的に表現できることを学ぶ。 ・相互鑑賞	◎	◎	◎	◎	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:対象をしっかり見つめて、形や構造の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:デッサンの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 d:他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の取り組む姿勢や表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート 制作の様子 製作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート
三学期	学習発表会鑑賞	【鑑賞】 ・自校の学習発表会の展示・発表を鑑賞	◎			◎	a:生徒作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。 d:自己の感性や想像力を働かせて、作者の心情や意図と表現の工夫、主題と表現技法の選択や材料の活かし方などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。	鑑賞ワークシート
	絵具を知ろう！	【鑑賞】 ・油絵具の材料と種類 顔料と様々な展色剤の違いを知り、その性質と表現効果を知る。	◎			○	a:表現材料としての絵具に関心を持ち、油絵具の性質や表現効果を味わい、主体的にこれからの創作活動に取り組もうとする。 d:油彩画作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、その特徴を捉えて分析するなどして、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	ワークシート 学習活動の様子
	身近なものを描く	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・油彩画制作 モチーフをデッサンし、油絵具を用いて絵画を制作する。 ・相互鑑賞	◎	○	◎	◎	a:技法や画材、用具の特性や効果を主体的に活かし、表現方法を創意工夫して構想を練ろうとしている。 b：表現形式や技法の効果を活かし、主題に合った表現の構想を練っている。 c:油彩絵具の特性を活かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の取り組む姿勢や表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。